安全衛生大会の実施結果【速報】

平成 26 年 5 月 16 日(金) 14:00～16:50、横浜市情報文化センター

■■参加者 159 名･･･多くの御参加、ありがとうございました。■■

◆当日の講演資料については、後ほどホームページで公表します。◆

古敷谷安全衛生協議会議長

多くの参加者で埋まる会場

県内の労災統計データから、産廃業では「はさまれ・巻き込まれ」事故が多いこと、経験年数が少ない従業員の事故が多いことをもとに、産廃業界が今すぐ取り組むべきこととして、社内意識改革・体制整備・見える化・新人教育などの説明がありました。

①産業廃棄物処理業界における労働災害の現状と直ちに取り組むべきこと
講師：神奈川労働局労働基準部安全課
山田泰彦安全専門官さま

生々しい事故現場の動画、危険な作業のイラストなどで注意を呼びかけ、協会の会員の工場で実践している安全対策について動画・写真による具体的な事例紹介をもとにして、各現場ですぐに実践できる効果的な対策などの説明がありました。

②処理の現場で見出される危険作業・危険個所と具体的な対処方法
講師：労働安全コンサルタント　二階堂久氏

産廃業の労災の特徴から、労働安全衛生法の基本、現場で必要な事故防止対策など 15 問の設問をもとに、参加者に考えてもらいながら解答を説明し、最後に各社で役に立つチェックリストや支援システムなどの紹介がありました。

③職場のリーダーが取り組むべきこと/あなたの労災防止レベルテスト
講師：神奈川県産業廃棄物協会相談役
長谷川滋氏

賛助会員や保護具メーカー団体等によるパンフレット・資料、各種保護具の展示

参加者アンケートから・・・ご意見・ご要望・ご提案の概要

- 労働災害の発生状況が数値を踏まえて見ることができたこと。
- 勤続の浅い者の事故が多いことがデータでも確認できた。初期の安全教育の重要性。
- 災害事例が具体的でわかりやすく、理解が深まった。写真、マンガ、映像が良かった。
- フォークリフトに集車する際の左側乗車を行う事が参考になった。荷卸しをする前に（シートをたたむ時）安全の確保で輪止め、安全帯の使用について良かったと思う。参考になった
- トラックの輪止めの必要性を映像で見れた。
- 他社での安全対策への取組事例が参考になった。・危険作業、危険個所と具体的な対処方法は映像もあり、実際の対策も見れてとても良かった。
- 事故事例も写真、映像があり（インパクトがあり）記憶に残っている。また改善事例の紹介もあって参考になった。
- 安全意識の向上。社員に伝えたいと思った。
- 建設業としての安全衛生大会は多く出席等もあり資料もありますが、産廃業界としての　安全衛生大会は少ないので、具体的事例等、大変参考になりました。会社に戻り、水平展開を広げていきたいです。
- 処理現場での具体例は実際に実施できるものもあり、取り入れてみたいと思います。
- 職場のリーダーが取り組むべきこと、全産連の HP を確認したい。
- 災害事例、対策事例、データベース、支援ツール、システム情報に入手。
- 安衛法を背景に罰則から業廃まで、より理解を深められた。
- 作業手順書の作成、ロープの掛け方、フォークリフト、重機等の見本（操作等）を作って貼りだす。
- 職場のリーダーが取り組むべきこと。安全衛生の取り組みについて再確認しました。
- 今回のような安全管理者、衛生管理者を対象とした内容の物を定期的に行っていただければと、思います。そこで具体的な例を挙げて説明してほしいです。
- 規定、教育等のマニュアルがあることを知った。
- 廃棄物処理施設での事故発生事例をもっと詳細に説明とその対策を提示してほしい。
- 定期的な開催（6 か月に一度程度）・化学物質のリスクアセスメントについて具体的にどのような方法で取組めばいいのか知る機会を設けてほしい。
- 労働災害減少の為、定期的に行ってもらいたい。実際に重機などを使用した安全大会の開会を。
- 社員教育に即、使用できるような資料を希望する。